

営農部営農支援課TACアドバイザーの中込です。

毎月TAC通信をお読みいただき誠にありがとうございます。

JA南彩では現在8名のTACが北部・中部・南部エリアに分かれて担い手支援担当として組合員の皆様のお役に立てるよう日々努めております。すでにご存知の方々も多いと思われませんが、まだまだTACについてよくわからないという組合員の皆様のために、ここにご紹介させていただきます。

まず、皆様が目にする横文字「TAC」は「Team for Agricultural Coordination」の頭文字です。訳すと農業調整チーム、農業調整のためのチームとなります。平成20年4月に一般公募により「地域農業の担い手に出向くJA担当者」の愛称として決まり、単協・連合会が一体（チーム）となりすすめることとなりました。

このTACという言葉になじんでいただくためにT（とことん）、A（会って）、C（コミュニケーション）というキャッチコピーも提唱しています。JA南彩にとっての「重点顧客」、すなわち、これからも地域農業を担っていく農業経営者、つまり「地域農業の担い手」に出向き、「担い手」の声・要望を収集しJAにつなぎます。そして、その結果をJAグループの事業に反映させJAグループの事業基盤の充実にもつなげます。TACの役割は、(1) 地域農業の担い手に訪問してご意見・ご要望をうかがい、誠実にお応えします。(2) 地域農業の担い手の経営に役立つ各種情報をお届けします。(3) 地域農業の担い手のご意見を持ち帰り、JAグループの業務改善につなげます。組合員の皆様とともに「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神でと考えております。今後、一人でも多くの組合員の皆様から「ありがとう」という言葉をかけていただけるよう努力することをお約束し、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。本年もTACをよろしくお願い申し上げます。



集合写真